

# 第1回 さっぽろ環境賞受賞の皆様

さっぽろの豊かな環境の保全に貢献する個人、団体を顕彰することにより、  
市民、事業者等の環境保全に関する意識の向上及び環境配慮活動のさらなる推進を図り、  
ひいては世界に誇れる環境都市「環境首都・札幌」の実現に資することを目的に、2009年2月「さっぽろ環境賞」創設。  
3月からの募集で71件の推薦があり、5月14日(木)の選考委員会を経て、受賞者を決定致しました。  
なお、優秀賞等と遜色ない活動に対しては、今回は「特別賞」を設けて顕彰致します。

## 札幌市長賞

### 地球温暖化対策部門

#### 特定非営利活動法人 北海道グリーンファンド

温暖化のない未来を地域の力でつくろう!!

1999年に北海道グリーンファンドを設立。2001年9月に日本初の市民出資による風力発電事業「はまかぜ」ちゃんを運転開始するなど、市民や関連団体と連携して風力発電を始めとする自然エネルギーの普及や開発を進める。

また、最近では「地域協働カーボンオフセット事業」を推進し、家庭での太陽光発電やペレットストーブの導入により、事業活動で発生する二酸化炭素をオフセット(相殺)する制度を構築・運用し環境配慮を進めている。

こうした活動により、二酸化炭素の削減だけでなく、市民の環境配慮の意識を実際の行動に移す機会を提供し、環境配慮の実践の輪を広げている点が特に優れており、環境保全に多大な貢献をしている。



### 循環型社会形成部門

#### 特定非営利活動法人「飛んでけ!車いす」の会

車いすのリユース

1998年に「飛んでけ!車いす」の会を立ち上げ、2000年にNPO法人の認証を受ける。日本では、成長に伴い体型に合わなくなった等の理由により、廃棄される車いすがある一方で、発展途上国では、障がいのある方でも、車いすが十分に行き渡っていないのが現状である。こうした中で、当会では病院や施設で使われなくなった車いすの寄贈を募り、ボランティアで運搬・整備して、主に東南アジアの国々で車いすを必要としている障がい児(者)、高齢者を対象に、その国へ渡航する旅行者に依頼し、直接手渡してもらって活動をしている。これらの活動により、国内において、車いすの寄贈、修理、運搬に関わる大きな善意のネットワークを構築し、累計67カ国・1,716台にのぼる国境を越えた車いすのリユースによる環境保全だけでなく、国際交流や障がい児(者)の自立、ひいては経済的弱者の支援及び生活環境改善に多大な貢献をしている。



### 環境保全・創造部門

もり

#### 特定非営利活動法人 森林遊びサポートセンター

地域の人々と森づくりと森林環境教育活動

1991年、「札幌森友会」として発足し、2003年にNPO法人の認証を受け、「特定非営利活動法人森林遊びサポートセンター」と改名。

藤野地区の森林等において、地域の人々と連携した植林、下刈、間伐などの森林を守り育てる活動や自然とのふれあいを通じて、環境保全意識の向上を図っている。

さらに、複数の小学校を対象に植樹体験や子ども樹木博士認定活動等による森林環境教育、中日友好交流の森づくりやスペシャルG8ワークキャンプの中での森林整備を通じた国際交流、各種シンポジウムの開催など多岐にわたる活動により、環境保全及び環境意識の広がりや向上に多大な貢献をしている。

